

# 「本市の子育て支援に関わる取り組みについて」アンケート集計データ及び分析

由利本荘市議会教育民生常任委員会

## 1 アンケート実施時期等及び回収率

実施時期；令和7年4月

実施対象；保育園・認定こども園 年長園児保護者（旧1市7町から10園を選出）

回収率等；配布数 180世帯 回収数 138世帯 回収率 76.6%

## 2 各質問事項集計データ及び分析（全体・本荘地域・旧7町の集計データ）※数値は世帯数、（ ）内の数値は%

### 問1 子育ての家族構成

|      | ①核家族      | ②同居家族     | ③母子家庭   | ④父子家庭   |
|------|-----------|-----------|---------|---------|
| 本荘地域 | 46(83.6%) | 6(10.9%)  | 2(3.6%) | 1(1.8%) |
| 旧7町  | 41(51.2%) | 35(43.7%) | 3(3.7%) | 1(1.2%) |
| 全 体  | 87(64.4%) | 41(30.3%) | 5(3.7%) | 2(1.4%) |

○ 本荘地域においては、核家族が約84%で同居家族は約11%と核家族の割合が多いのに対し、旧7町においては核家族が約51%同居家族が約44%となり、本荘地域に比較して同居家族の割合が多い結果となっている。

### 問2 由利本荘市の子育て支援に関わる取り組みは充実しているか。

|      | ①している   | ②まあまあ     | ③していない    | ④分からない    |
|------|---------|-----------|-----------|-----------|
| 本荘地域 | 5(8.9%) | 27(48.2%) | 17(30.3%) | 7(12.5%)  |
| 旧7町  | 4(4.8%) | 41(50.0%) | 28(34.1%) | 9(10.9%)  |
| 全 体  | 9(6.5%) | 67(48.5%) | 45(32.6%) | 16(11.5%) |

- 全体の集計結果では「充実している」「まあまあ充実している」を合わせると55%となる。その一方で、「充実していない」「分からない」の合計は約44%にのぼる。約半数近くの保護者が市の子育て支援策について、理解していなかったり満足していない状況にあると見ることができる。
- 本荘地域と旧7町の集計結果では、さほど大きな差異は見られないが、旧7町が本荘地域に比べ「充実している」との回答率が4ポイント低く、「充実していない」の回答率が4ポイント高くなっている。わずかな差ではあるが、旧町における子育て支援への満足度が低いことがうかがえる。
- 本荘地域における核家族の割合の多さや、旧7町における同居家族の割合と比較すると、両地域の各回答の割合に大きな差異がないことから、家族構成による子育て支援策の満足度の差異はそれほど見られなかった。

**問3 ③充実していない ④分からない と回答した理由。**

| 回 答 理 由                                                                                                                                                                               | 回答数                         |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|
| (子どもの遊ぶ環境について)<br>・公園など子どもの遊び場や施設が少ない。<br>・室内で遊べる施設がない。(にかほ市や山形県は充実している)                                                                                                              | 17<br>8                     |
| (補助制度等の経済的支援について、)<br>・補助制度の充実、保育料の無償化。<br>・医療費やワクチン接種の助成等、隣のにかほ市と同程度充実して頂きたい。(にかほ市との比較から)<br>・子育て応援券の配布回数増を。<br>・母子家庭の親の医療費も無償化だとうれしい。<br>・金額を収入で分けずに一律にしてほしい。<br>・義務教育終了まで長く続けてほしい。 | 16<br>2<br>2<br>1<br>1<br>1 |
| ・他の自治体と比較して充実していないと感じる。                                                                                                                                                               | 16                          |
| ・どんな子育て支援があるのか分からない。                                                                                                                                                                  | 11                          |
| ・子供達のイベントが少ない。                                                                                                                                                                        | 2                           |
| ・小学校給食費の無償化。                                                                                                                                                                          | 2                           |
| ・休日(祝日)保育を増やして欲しい。                                                                                                                                                                    | 2                           |

| 回 答 理 由                                                                        | 回答数 |
|--------------------------------------------------------------------------------|-----|
| ・ 保育園や小学校のＤＸ化が進んでいない。                                                          | 1   |
| ・ 子どもの行事に使える場所が行政によって廃止されたため、保育園のマナー行事、ＰＴＡの歓送迎会、子どもの祭りが廃止された。行政からの支援はなく、代替もない。 | 1   |
| ・ 児童館利用料 子供３人×５０００円＝１５０００円は大きい負担。                                              | 1   |
| ・ 子ども用品を買うことができる店も少なく限られている。                                                   | 1   |
| ・ 給食費に対する品目や量が足りない。                                                            | 1   |
| ・ 幼稚園のイベント等に対する支援が少なすぎる。                                                       | 1   |
| ・ ベビーシッターなどのサービスが少ない。                                                          | 1   |

- 充実していない理由として最も多く挙げられたのが、「子どもの遊び場が少ない」ということであり、２５名の方から充実を求める意見があった。内容としては、屋外はもちろんのこと、雨天時や冬期間にも子どもの遊び場となるような屋内施設を求める意見も多く、それらは近隣の市や県の施設設備との比較から述べられているものもあった。
- 次に多かったのが、補助制度の拡充や保育料の無償化など、子育てにおける経済的支援策を求める意見である。具体的な項目ごとに分類しているが、全体としては２３名から意見が寄せられている。本市でも多様な支援策を行っているが、保護者の経済的な負担感と市の施策のずれがないのか検討する必要があるのではないか。また、関連して、近隣の市との比較から支援策の不十分さをあげる意見も見られた。本市との財政規模や子どもの数も大きく異なることから、施策の対象範囲や助成額等を単純に比較できないことは理解するところであるが、市民感覚としては同レベルの支援策を求める声が多い現状である。
- 「どんな支援策があるのか分からない」という意見も１１名から寄せられている。これ以外にも、支援策を十分に理解していないが故に「不十分」と回答された方もいると考えられる。本市における支援策を一層周知していくための手立てを検討する必要があるのではないか。またさらに、対象となる方が適切に活用されているのか、その実績を分析し、施策の実効性を把握していく必要もあるのではないか。

#### 回答4 子育て支援でもっと取り組んでほしいこと

| 記 述 内 容                                                                                                                                                                                                                                                             | 回答数                                            |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------|
| (子どもの遊ぶ環境について)<br>・公園など無料の遊び場の整備充実。遊具の整備。<br>・雨天時に遊べる屋内施設がほしい(エスパークのような施設)<br>・矢島ふれあい公園の遊具増設、東屋(日かげ)やおむつ交換できるトイレ<br>・遊び場(exおもちゃ美術館 など)が冬場は暖房していてもすごく寒い。断熱改修工事や床暖を入れ<br>るなど環境を見直して欲しい。                                                                               | 2 7<br>2 2<br>2<br>1                           |
| (補助制度等の経済的支援について)<br>・親への経済的支援、金銭援助拡大<br>・第1子2子にも3万円の給付を。<br>・入学入園対象世帯に少しの金額でも現金給付<br>・中高大と家計の負担が多くなるのでそちらの支援を多くしてほしい。<br>・予防接種の助成拡充、おたふくワクチンの全額助成などがあれば<br>・夏だけでなく冬も支援(応援券)配布して欲しい<br>・校納金の無償化、<br>・子供の教材や文房具等を支援してほしい。<br>・子育て世帯への住民税の減税<br>・ランドセルの購入補助などがあってほしい。 | 8<br>5<br>1<br>1<br>6<br>2<br>2<br>1<br>1<br>1 |
| ・給食費の無償化。                                                                                                                                                                                                                                                           | 8                                              |
| ・保育料の無償化<br>・保育園の主食を園で出してほしい。園によっては出しているところもあるようなので統一してほしい。                                                                                                                                                                                                         | 7<br>1                                         |
| ・子育てイベントや子ども向けのイベントの開催                                                                                                                                                                                                                                              | 3                                              |
| ・幼稚園保育園への指示助言及び支援拡充(援助増額・保育士の増員支援と手当拡大)                                                                                                                                                                                                                             | 3                                              |
| ・病児、病後児保育の体制                                                                                                                                                                                                                                                        | 2                                              |

| 記 述 内 容                                                                    | 回答数 |
|----------------------------------------------------------------------------|-----|
| ・発達支援や相談の充実                                                                | 2   |
| ・子育て支援の意欲（予算配分）が足りない。                                                      | 1   |
| ・休日（祝日）保育                                                                  | 1   |
| ・由利本荘市で居住子育てがしたいと思う独自支援。（このままでは減る一方です）                                     | 1   |
| ・もっと本気で取り組まないと低下の悪循環から抜け出せなくなる。由利本荘市の将来が心配。やっぱり市外に出て行くべきかなと考えてしまう。         | 1   |
| ・働きながら子育てしやすいような仕組みづくりをしてほしい。企業側への子育てと仕事の両立をしやすい環境作りを求める等。                 | 1   |
| ・ファミサポのようなサービスを充実させてほしい                                                    | 1   |
| ・ラーケーションを導入してほしい。                                                          | 1   |
| ・小学校についてもっとしれる機会を年長さんに設けてほしいです。                                            | 1   |
| ・母乳育児の補助券を1年使えるようにしてほしい。                                                   | 1   |
| ・物価上昇による、子どもに必要なおむつやお尻ふきなどの支援があればうれしいです。                                   | 1   |
| ・共働きのため時間に追われています。夕食をゆったり食べれるサービス（お金を払ってもいいので栄養バランスのとれた手作りご飯等）提供があればと思います。 | 1   |
| ・おさがりイベントが行われ助かっています。続けてくれたらうれしい。                                          | 1   |
| ・働く車のイベントをもっとやってほしい。                                                       | 1   |

| 記 述 内 容                                                                      | 回答数 |
|------------------------------------------------------------------------------|-----|
| ・ 習い事の助成など。                                                                  | 1   |
| ・ 小学生になると用意しなければならないものにお金がかかる。学校で貸し出すなどできるものは買わなくていいようにしてほしい。                | 1   |
| ・ 男子のガードシル無償化                                                                | 1   |
| ・ 子どもと気軽に食事できるところが欲しい                                                        | 1   |
| ・ 空家に子育て世帯がリフォームして入居できる支援の拡充                                                 | 1   |
| ・ スポ少等の環境整備（屋外ナイター設備）                                                        | 1   |
| ・ 不登校を生まない、個人に合わせた学習環境の整備。                                                   | 1   |
| ・ 起動に20分以上かかるような教室のパソコンをおいて、デジタル時代におくれた子どもを育てる意義が分からない。                      | 1   |
| ・ 小児科の受診が予約制で急な時、断られる（改善してほしい）。                                              | 1   |
| ・ 学童での食事支援が充実するといいなと思う。希望者には弁当・給食（長期休み時）あれば。共稼ぎで入学前ですがすでに不安しかない。             | 1   |
| ・ 共稼ぎ世帯への支援。世帯員がみんな働いている家庭もある。子の看護休暇等ではなくサポートとしての支援が充実、周知、利用しやすいものであると助かります。 | 1   |
| ・ 例えば、ランドセルなどの子供が共通で使う物品について、指定の物が があると親としてはありがたい。                           | 1   |
| ・ 東小の学童を公共の施設を利用するのは反対。学童は学校の近くがいい                                           | 1   |
| ・ 保育園の主食を園で出してほしい。園によっては出しているところもあるようなので統一してほしい。                             | 1   |

| 記 述 内 容                                                                                          | 回答数 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| ・子ども服を取り扱う店を増やして欲しい。                                                                             | 1   |
| ・ふれあいカードをもっと充実させてほしい。(加盟店を増やすなど)                                                                 | 1   |
| ・外食で子どもへのサービスを多くできるようにしてほしい。                                                                     | 1   |
| ・保育園の修繕。                                                                                         | 1   |
| ・子どもの人数が市内でも多い岩谷保の立て直しをお願いしたい。今後、下川保も一緒になることを考えると無駄なお金ではないし、岩谷に住み始める若者がどんどん増えている分、お金をかけるべきところでは。 | 1   |
| ・市のさくら教室や虹っこひろばは、利用できてよいのですが、都度、仕事を休まなくてはいけないので、そこが不便だなと思います。親の負担が少なく支援を受けられたらいいと思います。           | 1   |

- およそ40項目にも及ぶ事項について意見が寄せられた。中には市ではなく民間等で取り組むべき内容もあるがこれだけ多くの意見が寄せられたということからも、子育てにおける多様な困り感を多くの保護者がもっていることがうかがえる。
- この質問項目においても、子どもの遊び場の充実を求める声が最も多く寄せられた。その意見数は回答者総数の1/3を超える52名となっている。先の「充実していない」理由として挙げた25名の倍以上の回答者数となっていることから、保護者にとっての子育て環境における遊び場の重要性を再認識させられる結果であった。現在の本市の財政状況や公共施設管理計画との兼ね合いから、保護者にどのように理解を求め、今後対応していくのか検討が必要となってくるのではないかと。
- 経済的な支援を求める意見も多かった。子育てにおける経済的な負担が大きいことをうかがい知る結果となった。

問5 日頃子育てにおいての悩みはあるか。

|      | ①おおいにある   | ②いくらかある   | ③それほどない   | ④いまはない   |
|------|-----------|-----------|-----------|----------|
| 本荘地域 | 12(21.4%) | 27(48.2%) | 13(23.2%) | 4(7.1%)  |
| 旧7町  | 17(20.9%) | 27(33.3%) | 29(35.8%) | 8(9.8%)  |
| 全 体  | 29(21.1%) | 54(39.4%) | 42(30.6%) | 12(8.7%) |

- 悩みが「おおいにある」「いくらかある」という回答率は全体で約70%となった。地域別に見ると本荘地域が約70%となり、旧7町の約54%を16ポイント近く上回る結果となっている。この差異については問6の自由記述から分析を行っていきたい。

問6 問5で悩みが ①おおいにある ②いくらかある どのような悩みか。

| 記 述 内 容                                                                                                                                                                                                                       | 回答数                   |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| ・ 遊べる場所が少ない。室内の遊び場がほしい。                                                                                                                                                                                                       | 11                    |
| ・ お金について、経済的負担                                                                                                                                                                                                                | 8                     |
| ・ 核家族で両親共稼ぎなうえ、両親ともに朝早く帰りが遅いため、子育てに充分かかわることができない。<br>・ 子どもの体調不良が続く、仕事を連続で休まなければならない。<br>・ ワンオペで体力的精神的にきつときがあること。フルタイムで思うように働けないこと。<br>・ 仕事をしなくては生活は成り立たないけど、子どものために支援は利用したい。でも、なかなか仕事を休むのも難しい<br>・ 職場での時短勤務、夜勤免除が6歳までなのが困ります。 | 5<br>2<br>1<br>1<br>1 |
| ・ だんだん言うことを聞かなくなっている。子育てがうまくいってないか不安になることが多い。言葉遣いなど。                                                                                                                                                                          | 5                     |

| 記 述 内 容                                                                                                        | 回答数              |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|
| ・昭和の子育て過ぎてまわりから浮いている。褒めるだけの育児につかれる。自分の親も子育てがへた？<br>だったのか、その連鎖でどう子どもに接していいのか分からない。そんな親にも優しい、教えてくれる<br>市になってほしい。 | 1                |
| ・両親と祖父母の価値観、育児方法の違いについて困ることもある                                                                                 | 3                |
| ・子どもの発育に関して<br>・発達障害気味の子どもへの接し方がわからない。<br>・人と話すことが好きでいろんな人と（大人でも子どもも）に話しかけるが、トラブルにならないか心配。                     | 2<br>1<br>1      |
| ・学習についてなど。<br>・子どもの勉強の教え方がわからない。<br>・共稼ぎ生活の中で、小学校入学準備として読み書きなどを教えるまとまった時間がなかなか取れず出だ<br>しに遅れをとらないか心配。           | 3<br>1<br>1      |
| ・1時間でも自分の時間が欲しい。<br>・気持ちにゆとり、余裕がない。<br>・育児のストレスが多い。家計を考え、共働きにしているが、毎日時間が足りない。休む暇もない。<br>・夜泣きによる寝不足。            | 1<br>1<br>1<br>1 |
| ・病児保育がなく、子どもが熱がでたら仕事を休まざるを得ない。そうして子育てしながら働く女性のキ<br>ャリアダウンないし昇進できない状況に陥るので、収入の社会的立場の男女差が生まれるのだなと痛感<br>している。     | 1                |
| ・夫婦共稼ぎで、仕事が特殊なため、休日や祝日に出勤しなければならない時もあり、そんな時でも手輕<br>に利用できる保育施設のような施設があるといい。                                     | 2                |
| ・習い事や体験学習をさせたいが身近に無く、長く経験させられない（送迎が困難、土日のところもあま<br>りない)                                                        | 1                |
| ・習い事を始めさせたいが、時間と金銭面がネックで踏み出せないでいる。                                                                             | 1                |

| 記 述 内 容                                                                                                                                                                                            | 回答数 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| ・ 偏食の子どもに何を食べさせられるのかわからない。                                                                                                                                                                         | 2   |
| ・ 夫の理解が足りない。市で父親学級なども開いてくれたら。                                                                                                                                                                      | 2   |
| ・ 小学校に入学した際、学童保育の時間が短いことや、なじめるか親も本人も心配している。                                                                                                                                                        | 2   |
| ・ 学童の問題                                                                                                                                                                                            | 1   |
| ・ 休日両親の片方が仕事だとどこにつれていっていいかわからない。                                                                                                                                                                   | 1   |
| ・ 公務員の都合で、小学校が統廃合されるが、実子が入学する際周囲の同級生と学校が違う状況となる。こちらには何のメリットもない。学校を就職先の一つくらいに考えているのなら今すぐやめてもらいたい。                                                                                                   | 1   |
| ・ 行政から子育て場所ではないから出て行けと言われているように感じる。市の中心部以外の子どもを、医療や福祉などの他の部門が切り捨て続けている中で、子育てをここすべきか悩む。祭りもなくなり、病院もなく、飲食もなく、今後は通学バスの維持もあやしい。行政の姿勢には不安しかない。子どもは出ていったら戻らないだろう。大人も出て行くのに、子どもに良い環境のはずがないと認めないと、本市の未来は暗い。 | 1   |
| ・ 放課後デイが少なすぎます。春・夏・冬休み困ります。特に西目は小学校より遠いので、敷地内とかこども園に協力依頼して頂きたいです。                                                                                                                                  | 1   |
| ・ 少子化によって身近なところでスポ少などに参加できない可能性があり、選択肢がなくなる。親の送迎等の負担増となることを懸念している。                                                                                                                                 | 1   |
| ・ 歯について                                                                                                                                                                                            | 1   |
| ・ 緊急時に受診できる病院が少ない。ネット予約が多く緊急受診できない。                                                                                                                                                                | 1   |

- 問6においても、最も多い意見は子どもの遊び場についてであった。
- 本荘地域の保護者から悩みとして挙げられた内容を見ると、仕事と子育ての両立に関わるものが多いことが分かる。

それは、子どもと関わる時間がとれないことや仕事を休まなければならない状況など、直接的に仕事と子育ての両立の難しさを訴える内容もあるが、心の余裕の無さや休む時間がとれないなど、育児におけるストレスによるものと考えられるものもある。これは、やはり核家族という家族構成が影響しているとみることができる。

- 一方、旧 7 町においては、祖父母との教育観や育児のあり方の違いが悩みとして挙げられている。同居世帯が多い家族構成が反映される結果となっている。また、本荘地域ではなかった、子どもの発育に関する悩みを書かれている方がいたのも特徴的であった。

### 3 全体考察

- 令和 7 年 3 月に「第 3 期由利本荘市子ども・子育て支援事業計画」が示された。本計画においても保護者アンケート等に基づいた施策が設定されている。今後は、今回のアンケート結果と第 3 期計画における施策と照らし合わせながら、40%を超える子育て世代が「子育て支援は充実していない」「よく分からない」と捉えている現状をどのように改善していくべきか、検討していく必要がある。
- 各設問において多くの方から回答をいただいた「子どもの遊び場の充実」について、今後の本市における子育て支援の施策においてどのように展開されるべきか、市の財政状況や公共施設管理計画なども鑑みながら検討を重ねていく必要がある。
- 子育てにおける経済的な支援の拡充を求める声は、今回の調査でも多く聞かれている。本市の財政状況や幼児・児童数も考慮しながら、他自治体の取り組みについて調査研究を重ね、拡充の方向性を検討すべきと考える。
- 本市に限らず、他の自治体においても多種多様な子育て支援策が講じられているが、その周知をどのように図り、誰もが活用できる身近な子育て支援策としているのか調査研究を図っていく必要がある。
- 他の自治体において、保護者の子育て支援のニーズをどのように把握し、施策の展開や改善を図っているのかを研究することが、施策と子育て世代のずれの解消に結び付くのではないかと考える。
- 1 市 7 町が一つとなり広大な面積をもつ本市において、旧 7 町における子育て環境の充実をいかに図っていくかも今後の大きな課題と考える。